

戸隠神社 (とがくしじんじゃ)

所在地 市原市惣社4丁目9-8

創建時期 (伝) 天平12年(740年)

主祭神 おもいかねみこと 思兼命 (知恵の神様)

あめのたじからおみこと 天手力雄命 (力持ちの神様)

おもてはるみこと 表春命 (思兼命の子で、安産の神・
子供や女性の守り神)

境内社 金刀毘羅宮・祓戸大神・浅間神社・天神社
上総伏見稲荷神社・疱瘡社・十二所神社・
熊野神社・八坂神社・大杉神社・子安神社

社格等 (推定) 上総国総社 村社

宮司 時田 克男 (五井大宮神社兼任)



戸隠神社の歴史

日本神話にある「天照大神が天の岩屋にお隠れになった時に、無双の神力を持って、天の岩戸を開き、天照大神をお導きになった天手力雄命を戸隠山の麓に奉斎したことに始まったと言われる。

上総国の戸隠神社も上総国府の設立に伴い、天皇の祖と言われる天照大神に縁のある神社を総社として遷座されたと思われる。

※ その後上総国総社は、飯香岡八幡宮に変更されている。

※ 総社とは、惣社とも書き、一定の地域内に鎮座している神社の祭神を勧請して、特定の一神社に合祀しその地域の集約的な祭祀を行うものとされる神社。一郡・一郷の総社もありますが、一般的には一国の総社を言う。



「千葉県神社名鑑」による戸隠神社の由緒

天平十二庚辰年八月初酉の日の鎮座で、信州戸隠大神の垂跡と言われる。例連八月初酉の日に、五井浦大音橋まで神輿渡御がある。

境内の神社紹介

金刀毘羅神社 — 神奈川県金刀毘羅宮を総本宮とし、祭神は大物主神(オオモノヌシノカミ)とする神社で、全国に存在する神社。
海運の安全を守る神。



祓戸神社（はらえとじんじゃ）

祓戸大神を祭神として祀り、神道において祓いを司る神です。祓戸大神とは、日本神話の神産みの段で黄泉（よみ）から帰還した伊邪那岐命（イザナキノミコト）がみそぎした時に化成した神々の総称ということになる。



浅間神社（せんげんじんじゃ）

富士山に対する信仰の神社で、祭神は「木花之佐久夜毘売命（コノハナサクヤビノミコト）を祀る神社。

富士山は古くは「福慈神」「不尽神」と言われるような霊妙な神山・日本鎮護の神山であった。

しかし奈良時代末から火山活動が活発化し、「火山神（浅間神）としての信仰として全国に広まった。



上総伏見稲荷神社（かずさふしみいなりじんじゃ）

稲荷神社は、稲を象徴とする穀霊神・農耕神を祀る神社。

稲荷大明神、お稲荷様・お稲荷さんとも呼ばれ、五穀を司る御食津神・ウカノミタマと稲荷神が同一視されることから多くの稲荷神社は「ウカノミタマ」を主祭神としている。

神道系の稲荷神社では、朱色の鳥居とキツネ像が象徴となっているが、本来の「田の神」の祭場はキツネ塚だったと言われ、境内に神の使いと言われる狐塚を祀るようになった。



天神社（てんじんしゃ）

天神信仰は、日本における「天神（雷神・いかずちかみ）」に対する信仰のことで、特に「菅原道真」を天神様」として畏れ（おそれ）・祈願の対象とした神道の信仰とされた。

本来、天神とは国津神に対する天津神のことであり特定の神の名ではなかったが、道真が没後すぐに、「天満大自在天神」という神格で祀られ、続いて「清涼殿落雷事件」を契機に、道真の怨霊が北野の地に祀られていた火雷神と結びつけて考えられ「火雷天神（からいてんじん）」と呼ばれるようになった。

また、道真は学問にも優れており、学問の神としても祀られているが、こちらの神社は「天満宮又は天満神社」と呼ばれる。



疱瘡神（ほうそうかみ）

疱瘡（天然痘）を擬神化した悪神で、疫病神に一種。

平安時代に疱瘡は朝鮮半島の新羅から伝わったもので、怨霊の祟りとも考えられ、疱瘡が新羅から来たということから、三韓征伐の神として住吉大明神を祀ることで平癒を祈ったり、病状が軽く済むように疱瘡神を祀ったと言われる。



十二所神社（じゅうにしよじんじゃ）

古からの十二様と称する土着の山の神を祀ったものと、熊野神社の系列のものがある。

十二所神の信仰は、射日儀礼を含む「十二講」の習俗を伴い、北関東・甲信越を中心にして東日本の山間部に分布する。

熊野神社（くまのじんじゃ）

熊野神社とは、熊野三山（熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社）の祭神の勧請を受けた神社の祭神である熊野大権現の感情を受けた神社です。本宮と新宮では他に9柱の祭神が祀られており「十二所権現と呼ばれ、那智は1柱多く十三所権現とも呼ばれている。

八坂神社（やさかじんじゃ）

八坂神社は、スサノウノミコトを祭神とする神社で、通称「八坂さんや祇園さん」と呼ばれている。

元の祭神であった牛頭天王が祇園精舎の守護神であるとされていたことから、元々は「祇園神社」

「祇園社」「祇園感神院」などと呼ばれていたが、神仏分離令により「八坂神社」と改名された。

大杉神社（おおすぎじんじゃ）

大杉神社は、茨城県稲敷郡阿波（あば）にある神社で、「茨城の日光東照宮」の異名があり、「あんばさま」の愛称で親しまれている。

主祭神は「倭大物主櫛瓊玉命（やまとおおものぬしくしみかたまのみこと）・大己貴命（おおみきのみこと）少彦名命（しょうひこなのみこと）です。

子安神社（こやすじんじゃ）

子安神社は、天平3年（759年）に橘右京少輔という者が、時の天皇の皇后さまの安産祈願の為に創建されたと伝えられている。祭神は「木花開那姫命」である。安産・子授け・育児の御利益があるという。



鳥居に掲げられる幣額

山門入口に建立されている鳥居に掲げられている幣額には、「総社」と書かれている。

戸隠神社は、上総国の出来た頃には国司が訪れ、国事の安寧を願い祈願した神社です。

現在の額に書かれている書は宮司の五井大宮神社宮司の時田克男氏の書です。



この資料は、ウィキペディア及び千葉の神社紹介等を参考に作成しました。

上総の国いちはらの歴史を知る会

連絡先 090-3545-1113